

平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	街道連携による西部地区広域観光推進事業
事業主体 (連絡先)	下伊那西部4か村地域振興協議会 (阿智村経済活性化課 (0265)43-2220)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,827,025円(うち支援金:2,827,000円)

事業内容

豊田市から飯田市までのR153・256沿線が連携した「街道の魅力づくり」をテーマに次の事業を行いました。

- 連携イベント「飯田街道ひなまつり」の開催
- パンフレットや情報誌による中京圏への宣伝告知
- 観光資源としての地産地消の普及啓発



自己評価(事業実施率)【 B 】

【飯田街道ひなまつり】

事業効果

豊田市足助の「中馬のおひなさん」とテーマを共通して開催している「飯田街道ひなまつり」については、これまでの南信州西部地区に加え、今回(21年3月開催)から飯田市の会場も加わり、年々その規模を拡大しています【H19.3 60戸、H20.3 127戸、H21.3 180戸】。また、昼神温泉地区でも本格的な参画が始まり、大きな注目を集めました。

また、これまでも153号沿線地自体(豊田市、飯田市、南信州西部4村)で不定期に集まりを持ってきましたが、今回初めて、飯田市から豊田市までの沿線約100キロのドライブマップを共同作成し、豊田市、飯田市と連携した具体的な取組みの第一歩を残すことができました。

【目標・ねらい】

- 観光事業における県境を超えた広域連携の推進。
- 交流人口増加に対応できる受け皿づくり

今後の取り組み

豊田市足助から始まった街道沿いのひなまつりは、「飯田街道ひなまつり」として、飯田市までその範囲を拡大したところですが、豊田市から飯田市までの153号沿線のひなまつりをPRする1枚のリーフレットを作製し、共同したPR活動を展開し、この街道全体のイベントとして育てていきたいと思っています。

また、153号ドライブマップの共同作成で、具体的な取組みを開始した豊田市及び飯田市との連携についても、引き続き発展させていきたいと思っています。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。